

# 可児市が女子野球タウンに認定 応援大使と共に女子野球の発展へ

問 文化スポーツ課  
内 2432

市は、中部地区初の「女子野球タウン」に認定されました。併せて、女子硬式野球チーム <sup>ネクサス</sup>東海NEXUSを可児市特命大使の「可児市女子野球応援大使」に委嘱し、女子野球の普及・発展や市の魅力発信の活動に取り組んでいただきます。

## 女子野球タウンとは

女子野球の普及と女子野球を通じたまちづくりを目指す自治体に対し、一般社団法人 全日本女子野球連盟が認定するものです。

令和7年に女子野球の大会がカヤバスタジアムで開催され、全面人工芝の環境が選手の皆さんに好評となり、女子野球タウンへの申請のきっかけとなりました。

## 東海NEXUSを女子野球応援大使に委嘱

市原産業スポーツフィールドなどで行われる市のスポーツイベントや野球教室に参加してもらい、イベントを盛り上げたり、女子野球のPRをしてもらいます。市の魅力を発信する可児市特命大使は塚本明里さんに続く2組目となります。



左から東海NEXUSの高木監督、<sup>いかり</sup>硬球団代表、市長、全日本女子野球連盟の山田さん、東海NEXUSの選手



ただの  
只埜さん

東海地区最大規模の女子野球啓発イベント「Grow Upプログラム」や女子高校野球の全国大会など、市で行う女子野球を盛り上げます。



## つくってためてトクをする 太陽光発電設備などの設置を応援

問 環境課  
内 3401

再生可能エネルギー導入による温室効果ガスの排出削減や災害に強いまちづくりの推進のため、個人住宅向けの太陽光発電設備や蓄電池、家庭用燃料電池の設置費用の一部を補助します。

**対象設備・補助金額** (予算上限に達し次第終了)

- ①太陽光発電設備 = 1 kW当たり 4万円 (上限 5 kW 20万円)
- ②蓄電池 = 1 kWh当たり 1万円 (上限 10 kWh 10万円)
- ※①で設置する太陽光発電設備と併せて設置または既設の太陽光発電設備の付帯設備として設置するものに限る。
- ③家庭用燃料電池 = 上限 10万円



## 対象者

- 市が交付決定をした日以降に設置工事に関する契約をする人
- 自ら所有し居住する住宅の敷地内に設備を設置する人
- 発電した電力の30%以上を、申請した住宅の敷地内で自ら消費する人
- ※他にも諸要件あり。

申請期間など  
詳細はこちら



市HP